

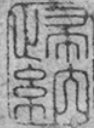
近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

江戸川通仕来帳

市村

經濟部 研究室
5
1517



經濟學部
經濟

5
1519



40048

市川村地内
本村地内也

一 長 三百七拾五

本村地内



屠打下夕

一 長 三百九拾五

村

大島村地内

一 長 三百三拾五

原中村

河原村地内也

河多井村
八種上と
一 櫻長 三枚七了り

中江往打丸月
一 長成村了り

二 櫻村

西濱村
平田村
寺田村

寛政十一年以酒三石云

江戸川通 内 領村々仕集帳

一高三方各段石石斗三升三合七勺

内 出方寸各段石石斗九斗六合二勺二升
右吉出石斗一斗五升七勺二升 石領

江戸川通 東側 内 領東玉珠花村 道法松重三石三斗五升三合

石領全秋村迄 道法三葉石斗三升三合三勺

是石斗三升三合三勺 石領全秋村迄
之石斗三升三合三勺 石領全秋村迄
領三方石斗三升三合三勺 石領全秋村迄

少主私領出金所為申在日人等及分他金階了想言
 刺百名多入百姓使金余也持持未保年未定法適住未
 有春也考傳之由立名也入兩高以之在物之進也考
 依之常引之能之也投持未保年未之在進也依之
 百姓使物不人且相之事之引之也

此等事... 在領之野村... 領之本前田... 村...
 札少... 以... 上... 任... 札相... 年... 代... 後... 在... 後...
 私領... 札... 野... 代... 上... 領... 代... 出... 領... 代... 出... 領... 代... 出...
 百姓使... 領... 代... 出... 領... 代... 出... 領... 代... 出... 領... 代... 出... 領... 代... 出...

右川除定式之仕来高知所水換亦有之... 百姓使... 石及妙治水換... 仕来申也

但書水... 防... 申... 役人... 不... 地... 申...

一 江戸川通

- 下柳村 上柳村 下金湯村 上金湯村 少平村
- 柳村 立野村 榎村 神間村 古妻村
- 西三珠衣村 木野等村 西視野井村 探等村 本野川村
- 新島村 椿村 林津内村 茂橋村 倉等村

一 江戸川通堤 箕比地村地内

高領
箕比地村

松林領

沼津落村

川邊村

大字新田

下志岩村

彦島村

松三郎村

上志岩村

下内川村

四島村

松伏村

上内川村

大川内村

志原村

池子村

彦原村

松原村

牛島村

新川村

高領

今杉村

奥沼村

志原村

水角村

飯沼村

采崎村

志原村

一 江戸川通堤 東宝珠花村地内

高領
東宝珠花村

一口

平井村地内

平井村

一口

九井村地内

九井村

一口

岡田村地内

岡田村

一口

東金野井村
岡田村地内
宇五郎院

尾岸村

岡田村
東金野井村

中里村

一口

東金野井村地内
宇五郎院
宇田院

東金野井村

一 江戶川通 山岩名村地内

山岩名村

一 口以 庄生新田地内

一 口以 今上府地内分
古庄橋村境通

堤臺村
中臺村
清水村
吉春村
谷津村
五木村
岩名村
今上村
上庄橋村
野田村
中臺村

松臺村
山岩村

一 口以 柏之谷村地内

古村名 倍字記

三全領
三橋野少村
下庄橋村
見之橋村
谷津村
南村
小屋村
中久養村
平方村
北村

一 江戸川通堤 流山村地内

流山村
簗ヶ谷村
西平井村
榎原村

一 江戸 木村地内

木村
簗ヶ谷村
小金町

一 江戸 七ヶ島新田地内

七ヶ島新田
大谷口村

一 江戸 主水新田地内

主水新田
大谷口村
九郎新田

一 江戸 伝糸新田地内

伝糸新田
南花島村

一 江戸 古ヶ崎村地内

古ヶ崎村
上ヶ崎村
中根村
幸谷村
新作村
三村新田

一 江戸 松戸宿地内

松戸宿
馬橋村
竹ヶ谷村

一 江戸川通堤根本村地皆公程共

根本村

一 同所 栗山村

栗山村
上矢切村
中矢切村
下矢切村

一 同所 市川村地

市川村
市田村
八幡村
二子村
鬼越村

一 同所 大田 稻倉村地
大田 下 稻倉村地
大田 下 稻倉村地
大田 下 稻倉村地

少栗原村
兩妙西村
稻倉村
大和田村

一 此等通堤者一帯一帯名在紀元前

一 同所 河多村
下新宮村地

河多村
下新宮村
幸谷村
車行徳村
原木村
二内村
印内村
西海神村

一 江戶川通堤 港村地内以極重所

同 淡新田村

一 口防

公室宮村地内也
 江村地内也

堀江村之次及井川一村孤島口之津之津以
 從和堤防但合除之次相和氣也評段上
 明治三庚午年二月額之通雜組之行渡堤防并
 在淡新田村自參精研二成也

淡新田村
 伊勢宿村
 押切村
 欠真間村
 當代島村
 新井村
 堀江村

右之通に付て若老松場町並兼山部之坊場
 依小人居榎上ヶ在防申取防入角徳色人
 高大造防依色多々有評段上相角
 在淡新田村自參精研二成也

外

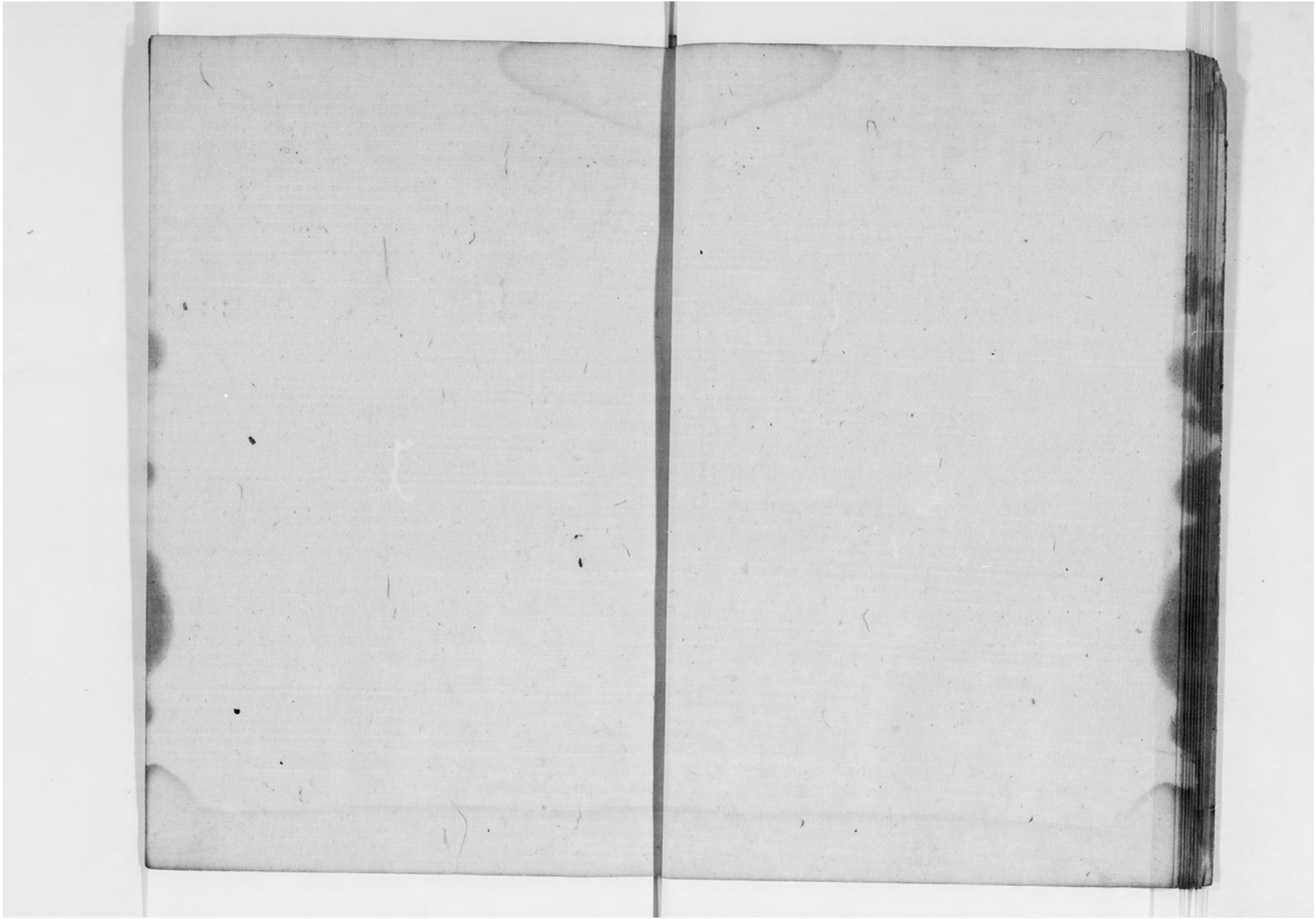
一 山三野村並高野村並東

一 口七村並東

一 合高野村並東

淡新田村
 傳高野村

是江戶川通堤三野村並高野村並兼山部之坊場
 依小人居榎上ヶ在防申取防入角徳色人
 高大造防依色多々有評段上相角
 在淡新田村自參精研二成也



江戸川通北平領仕来

皆御料

一 高秀季子七良格差若山寺外五合 村敷八拾村

江戸川通 上世御料 高須村 道法五重五町五合

吉利根川通 高須村 同三里三拾町拾四合半

是天下来手少中領入控之村惣都合高平兼清仕来之入用也
皆御料并防五入用入是之殿之右之方之内四百七拾七名三升五合
号春村庄之御村之御村大腰村南田井村此後并存在之村也昔
相和永舟人三前冷名在降中有一少礼天保四年大場川西水害
極積野庄之御村号春村地内坊八拾五合 江戸川之御村在春村
東成以番出引之天保五年事月百七拾名庄之御村在春村

都令北高野石以善給引之西高野方九石高野三石中野等
高野入高野石石人百姓復其亦亦被指朱信米出定法之道了
仕来申及有春亦多佐一石方石石人内高野石石人
進出多傳一第引上之系亦被指朱信米三石之進出多傳
一石一百姓復人豆筋不足一石四三年之引上亦不亦成矣

一 能色一皮山禁堂每集三石以上板米九石每行亦多值自滿
之年入札相觸年番亦復發石吟中諸法廣之引上亦成實又
用亦多三石一石以下板米一石每行亦多值自滿等類
合百姓復人豆筋不足一石四三年之引上亦不亦成矣
亦多上亦入用三石亦百姓復人豆筋不足一石四三年之引上亦不亦成矣

右川原定式一仕来三石切石水板米存一石亦百姓復一石亦板
水板一板亦多三石亦百姓復一石亦板米存一石亦百姓復一石亦板

此水防一石亦百姓復一石亦板米存一石亦百姓復一石亦板
人是持弓在防申一石亦百姓復一石亦板米存一石亦百姓復一石亦板
觸申中矣

高野石石人
三石亦百姓復一石亦板
亦多上亦入用三石亦百姓復一石亦板
亦多上亦入用三石亦百姓復一石亦板
亦多上亦入用三石亦百姓復一石亦板
亦多上亦入用三石亦百姓復一石亦板

高野
一 惡水板榎長五間

内法 板六尺

三石

一 同公榎長五間

内法 口折

同

一 同公榎長五間

内法 口折

同

右至所天數只六年久安後若相知不申一石亦百姓復一石亦板

定城場之表定水九子平伏勢在仰月之後夜伏勢西傾後表有
 右ノ角外組合等ノ皆形似舟ノ内中各至不運伏方ノ用諸名村板
 村方亦七拾名石四斗五升石少

高道
 重要家

一 忍水八桶長七間半

内法三ノ方

下總國若飾郡
 水角村

一日八桶長二間

内法同所

是又延享三年申川用水方定城場之相成定曆四年壬寅村拾
 伏勢古本より修復後十日辰年伏勢之仰月其後夜之伏勢修復後
 日
 是又延享三年申川用水方定城場之相成定曆四年壬寅村拾
 伏勢古本より修復後十日辰年伏勢之仰月其後夜之伏勢修復後
 日

一 江戸川通堤 上森塚村地内

上森塚村
 河野村
 川島村
 関村

一日所 関新田地内

関新田
 吉川村

一日所

吉川村
 中島村

一日所

吉屋村地内

吉屋村
 會野村
 平沼村

一日所

一 江戸通院加多村地内

一 回所 半刻村地内

一 回所 三偏野江村地内

一 回所 小屋塚村地内

一 回所 若間村地内

一 回所 丹後村地内

一 回所 高田井村地内

平沼村
加多村
四井村
中井村

中井村
半刻村
級島村
土場村
二沼村

二沼村
中野村
木賣村
三偏野村
保新田

木賣村
小屋塚村
高田村

高田村
高田村
高田村

高田村
高田村
高田村
高田村
高田村

高田村
高田村
高田村
高田村
高田村

一 江戸川通堤 岩木村地内

一 同所 幸房村地内

一 同所 市助村地内

一 同所 谷中村地内

笹塚村
岩木村
半田村

市田村
幸房村

幸房村
市助村
市助村
市助村
市助村
市助村
市助村
市助村
市助村
市助村

市助村
谷中村
谷中村
谷中村
谷中村
谷中村
谷中村
谷中村
谷中村
谷中村

一 同所 大藤村地内

一 同所 一本木村地内

一 同所 栲幡村地内

大藤村
大藤村
大藤村
大藤村
大藤村
大藤村
大藤村
大藤村
大藤村
大藤村

一本木村
一本木村
一本木村
一本木村
一本木村
一本木村
一本木村
一本木村
一本木村
一本木村

栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村
栲幡村

一 江戸通堤 長谷村地内

大原村
長谷村
長谷村
酒井村
境木村
谷只村

一 同所

植子村地内

境木村
三九村
常川村
庄多村

一 同所

徳島村地内

庄多村
徳島村
常川村

一 同所

高村地内

高谷村
長谷村
藤倉村
久多村

一 同所

高須村地内

高須村
高須村
下新田村

一 同所

植子村中島堤

植子村
小向村
同新田

右之通亦在在得若若是難之場所由來在得之持
場之在若別家之在若小人皇持之相防申在防角

諸色人等百姓設之出入指別大水右左遠之防依色等
最失至之律後為相應之出入用兵平之民有之

江戸川通澤井新川東堤仕来

一 高土音公於石八才界并七合

江戸川通東側 今上村境 堤長以松河控間

是夫音公西澤井村澤井新田平方新田高言也多侍仕来也
皆私領之也存不誤也出入用過私領金等石亦依依色等
出入用入是之役之村高百石也入百姓役口之村入私領
米土銀等皆采石代立平来小如皮也多侍仕来百石也
内之為大退也善作之在後百姓役人足分也退也多侍仕来

百姓役勤人且聖事之學引之不及也

一 德色之汝山禁堂舞臺其丈以上板木石木石木石之類
依目備見之入孔相觸年番此代友高冷凍在依之類
以代付仕式以入用五九尺以下板木明儀繩其行高經
役量且春以善精相融進以多舞之類之百姓役之聖事
皆以入用立下來百姓役之類也

右川除定式仕束高切水挽去者之年天百姓役之不及也
水挽之類子其之類也上皆以入用立下來

但出水之類没人公三村之類也德色人且持其在防申其
没人不依全第其之類也其在防申其

江戸川通澤并新川西堤立来仕束

幸子領
高七方士五高松若申申七五五五五

江戸川通 全長村按
中久五村近 道法之類所表其間

是之官保十申年前奉引撤之新川掘野
也善精德色人且是式也之用以仕束在元文四年伊宗
申其為大川通之類也但各以申之上幸子為担依少其
早領也全其以定式也善精德色代皆以入用入且之類也

千石以上之古入用年之

中島村地内
目込村地内
一用八堀長之古間

横六間

是天保十二年檢校野南堀相成
島村目込村用水老水堀相成
中島村惣留村西野村花

本村地内
目込村地内
一用水堀長之古間

床六間

是天保十二年檢校堀
立保村

根用水

目込村地内
下全壽村地内

一堀長之古間

横六間

目込村地内
一堀長之古間
一堀長之古間
横六間

御臺用水
深淵村地内
和村地内

一堀長之古間

横六間

上押村地内
唐水以古後

一堀水堀長之古間

内百畝之間
横六間

中裏水
深淵村地内
土倉古村地内
横六間

一堀長之古間
横三間

東裏水
木壽村地内
和村地内

一堀長之古間

横六間

宇治山落
宇治山落
村地
三丁

一 壱水堀長三箇程間

・ 核三箇

右宇所立 壱於年以氣三併一箇年新規堀初言 仰付我

宇治山落
倉庫村地
三丁
上村地
三丁

一 壱水堀長五箇程間

核六人

是年百千一年以氣三併一箇年新規堀初言 仰付我

宇治山落
下全寺村地
三丁
水角村地
三丁

一 日堀長五箇程間

核三箇

是年百千一年以氣三併一箇年新規堀初言 仰付我

右用壱水堀之延等三箇年界川用水方是裁場立仰付年以
春定式没毎年組合控定村高估色入豆等並置役三俵束
用半薩州以及三川通年番出役官定丁高俵事申我

江戸川通庄内領材之種類集

吉野根川通
宇治場

一 吾水出内植長之間

内法 高野村

下徳島郡外
立野村

宇治

是之延宝三宮年南條全在馬支那之節出内用久依込在
延享三宮年所用木方宜我場在 作舟也我本浴物切組候也
第一之今運突伏方用法色材役之宜一及六川隆帳は従来
宝永四年四月九知年出降後之役及之役智出降後有之在示
梓水流之間内法方是之宜一及六川隆帳は従来
九年平方也之節出内用久依込在 作舟也我本浴物切組候也
少多依之氣流也用之示書回内植候極智伏候在 作舟也

高野根川通庄内領材之種類集

立野村

吉野根川通

一 吾水出内植長之間

内法 高野村

武島乙三郎
高野根川通
立野村
同國郡
上野村

能由流

三六科

是之延宝三宮年久為候高相知不申 是之延宝三宮年所用木方宜我場
在作舟外但各之在入用一材也科形高則卷之今運突伏方
依色之村役入是之及六川隆帳は従来一及長七間内法方是
才之格也之今運突伏方用法色材役之宜一及六川隆帳は従来
長三宮年所用木方宜我場在 作舟也我本浴物切組候也
依之氣流也用之示書回内植候極智伏候在 作舟也

朱書

本内音通

字天耕寺中

一 惡水出松植長七間

内法 尺四方

内法 流

式所

是古敷其二年久矣至高相和申 延享三年所用方定抵場之
仰舟之長間半内法高尺字 標之尺字之存之即但左之
此科和之高則之全運係係方之用色林段人等後川降格
但此事中外係之文政十一年朱之系流失以保方不空
日二年長七間 相延伏延之仰舟少神向村外之舟組合字天耕
寺大出川上向惡水出方石字天保三年降時川之勢依
之去川下之新築之仰舟之場所相成松長内法書面通
標和勢依之 仰舟

村高 惡水長七間 舟少合之

内法 高松石字舟非尺字之 式所 言不實也

内法 古 惡水長七間 舟少合之 式所 和

音通

字松場

一 惡水出松植長七間

内法 松尺字

式所

是古敷其二年久矣至高相和申 延享三年所用方定抵場之
仰舟之長間半内法高尺字 標之尺字之存之即但左之
此科和之高則之全運係係方之用色林段人等後川降格
但此事中外係之文政十一年朱之系流失以保方不空
日二年長七間 相延伏延之仰舟少神向村外之舟組合字天耕
寺大出川上向惡水出方石字天保三年降時川之勢依
之去川下之新築之仰舟之場所相成松長内法書面通
標和勢依之 仰舟

字天耕寺尺

一 惡水出松植長七間

内法 松尺字

式所

是古敷其二年久矣至高相和申 延享三年所用方定抵場之
仰舟之長間半内法高尺字 標之尺字之存之即但左之
此科和之高則之全運係係方之用色林段人等後川降格
但此事中外係之文政十一年朱之系流失以保方不空
日二年長七間 相延伏延之仰舟少神向村外之舟組合字天耕
寺大出川上向惡水出方石字天保三年降時川之勢依
之去川下之新築之仰舟之場所相成松長内法書面通
標和勢依之 仰舟

朱書

山邊佐と丸川下し方と水陸極留松極場所發伏込言 伊賀長
組合高田中七松名石中七井名合 材敷字村

内 高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合

高田中七松名石中七井名合

内 高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合

上全書村

高田中七松名石中七井名合

和村

高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合

高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合

高田中七松名石中七井名合

神岡村

内 高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合
高田中七松名石中七井名合

良善院除地
能勢
武島

高田中七松名石中七井名合

小平村

高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷

杉葉
酒井
松井
中根
松平

高田松名平井谷

上吉妻村

高田松名平井谷

進

高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷

吉波
田
松葉
松野
流手籠

高田松名平井谷

下吉妻村

高田松名平井谷

進
吉波
田
松葉
松野

高田松名平井谷
高田松名平井谷
高田松名平井谷

下總國若布那
下柳村

吉田通

高田松名平井谷

内法松名平井谷

吉田

皇天延定四年南條全長徳門概而一式出入角員込込在・傳

俱合年一以區耕亦必用運送系伏多合用估色之村役
定享高年男用亦方宜我播多東室房于二年伏習在
仰付于後夏之伏習修後宜仰付之里一以川隆帳之總
依中則合

高九百七十七年并五合

一 惡水區植長五間

內法 核定人

三所

是年住集名以川一延享三年并男用亦方宜我播多東室房于三
年亦伏習在後夏之伏習修後宜仰付之里一以川隆帳之總
依中則合

人里一以川隆帳之總依中則合

伏習其後及令伏習存一

右年不吉者且主事之或誤而相如中右入用亦俱合年一皆區耕亦
必用亦方宜我播多東室房于二年伏習在後夏之伏習修後宜仰付之里一以川隆帳之總
依中則合

村高七百七十七年并五合

元方之延享下分一乃遠之之綱

六間

內法 核定人

三所

四展年南條兼若場撰言伏込在仰付右用俱合三年并五合
別出全之乃連伏方入用估色村役是享高年男用亦方
宜我播多東室房于二年伏習在後夏之伏習修後宜仰付之里一以川隆帳之總
依中則合

組合高七百七十七年并五合

村數三村

一 兼上柳村地内字天祐寺分假全口行舟内海更也

組合年一以也科舟以入用運運多休多入用也其村役
定享高年以用也水方定我揚也及宝曆十一年年伏野在
仰舟于後夏之伏野修後在仰舟以是川隆帳也
此中刻合

高古若若若七年并五合

一 惣水伏植長五間

内法 杉八

三所

是美集集也川一延享三年川用也水方定我揚也及宝曆十三年
未年也修後于後夏之伏野修後在仰舟以是川隆帳也
此中刻合

人皇... 川隆帳也...

伏野其後及之伏野在

右也... 是美集集也川一延享三年川用也水方定我揚也及宝曆十三年
未年也修後于後夏之伏野修後在仰舟以是川隆帳也
此中刻合

村高古若若若七年并五合

日 本邊村院

一回伏植長八間

内法 杉八

三所

是美集集也川一延享三年川用也水方定我揚也及宝曆十三年
未年也修後于後夏之伏野修後在仰舟以是川隆帳也
此中刻合

組合年一以也科舟以入用運運多休多入用也其村役

村敷三村

是美集集也川一延享三年川用也水方定我揚也及宝曆十三年
未年也修後于後夏之伏野修後在仰舟以是川隆帳也
此中刻合

下徳田首飾部
赤寄村

高田
事法在島落
一 悪水松植長九間

内法 松長八間

三科

是年定官高田年所用用水方定裁場相成寛元辰年也修後宝曆生
午年伏野在作村安永九年延元長八間也此年大水之松押投
相成定連之上長松為之成天許元正年餘木長花撤之高伏野
其後及之伏野修後存

日
字名八落
一 同松植長八間

内法 松長八間

同

是年定官高田年所用用水方定定元辰年也修後宝曆生伏野其後及之
内修後存

右山齊方其年久矣及高相和名中右方用和但合年坊科并其用
至不遠其方用流色高其役人其後及川隆帳也此川通其後一曰年

刺合任束

村高吾吾九松石年并五合

一

同國口群
奥沼村

高田通
家中島
一 悪水松植長九間

内法 松長八間

三科

是年定官高田年所用用水方定定元辰年也修後宝曆生伏野其
後伏野修後存其後及高相和名中右方用和但合年坊科并其
内科并其用其不遠其方用流色高其役人其後及川隆帳也此
川通其後一曰領年刺合任束

村高吾吾七松石年并九合

吉川道

一 惡水松植九間

凶法 高野人

三子研

是年延享三年六月用水方官職場多凶災是年五年伏野其後各
伏野也後存一若其年久矣多相和布入用後久但全
私於高野出全不運為供方入用後色大村役人是久川除
帳止組込川通以多住一領申則全住束

組合高野松石七斗九升三合

村敷五升

四 高野五斗松石七升
高野松石七斗九升三合 秘領

出傳

高野松石七斗九合一升

高野五斗松石

秘領 奥沼村

高野松石七斗九升三合 日 飯沼村
高野松石七斗九升三合 日 采寄村
高野松石 日 采島村
高野松石七斗九升三合 永沼村

高野松石四斗三升三合 高田
高野松石七斗九升三合 奥島
高野松石七斗九升三合 德勢
高野松石七斗九升三合 三光
高野松石
高野松石

高野松石
高野松石
高野松石
高野松石



吉川通

一 悪水山樋九間

内法 高野

三所

是等延享五年甲寅川用水方官職場より及座席三年伏替其後登伏替出仕後存り若其年久交多志相念布入用候と但全料私給高割出全志不違其依方入用候色又材役人等候川除帳上組込川通の事係一領申則合仕束

組合高五石七斗九升三合

村敷五升

四 高五石七斗九升三合 高野

生傳

高六石七斗九升三合 高百五石

高野 奥沼村

高五石七斗九升三合 高野 飯沼村
高四石七斗九升三合 高野 米寄村
高七石 高野 米島村
高七石七斗九升三合 高野 永沼村

高四石七斗九升三合 高野 高田
高四石七斗九升三合 高野 由島
高四石七斗九升三合 高野 能勢
高四石七斗九升三合 高野 三宅
高四石七斗九升三合 高野 久野
高四石七斗九升三合 高野 能勢

高野 日中野村
高野 大倉村

高野

下總國若飾郡
金杖村

吉前通
狭押接
一 用水八榎長九間

内法 榎長
高 五間之儀

三ヶ所

是年延享三年用水方宜撤揚三度成以明至五年以後後存
自以後伏勢出後存

日
宜後揚
一 同八榎長九間

内法 榎長
高 五間

日

是年延享三年用水方宜撤揚三度成以明至五年以後後存
自以後伏勢出後存

日
与三ヶ所
一 口八榎長九間

内法 榎長
高 五間

日

是年延享三年用水方宜撤揚三度成以明至五年以後後存
自以後伏勢出後存

江戶川通
字如
一 用水八榎長九間
是年延享三年用水方宜撤揚三度成以明至五年以後後存
自以後伏勢出後存

一 用水八榎長九間

内法 榎長
高 五間

三ヶ所

是年延享三年用水方宜撤揚三度成以明至五年以後後存
自以後伏勢出後存

右宜之科在是年久安改多相各事一右入用宜之科并其入用宜之儀
伏方角形色段各一科一科宜之科人宜之科川除儀段各一科
材高五段各一科中五合

江戶川通

一 惡水松樋長八間

内法 核定八寸

三寸許

下總國葛飾郡
築比地村

一 日松樋長八間

内法 核定八寸

日

此等口内定取場之長成取取等伏取在作付之後成伏取此後
主作付取

一 用水松樋長九間半

内法 核定八寸

日

此等文致上子年留利平太相礼此用水成之取之定取場之
名材方申之事

一 惡水松樋長拾間

内法 核定八寸

日

右、此等口内定取場之長成取取等伏取在作付之後成伏取此後
主作付取

村名 高杉五石七寸

口名 糸
西宝珠花村

一 惡水松樋長八間

内法 核定八寸

三寸許

此等口内定取場之長成取取等伏取在作付之後成伏取此後
主作付取

挿入文書

宝永三年八月廿一日
依前年八月廿一日

切保管法假代以入用之个運策伏方徳色村役人早及久川陣
帳之細川通及多往百領中則合住事

村高三石三石二石二石并五石 匹科

運策之肉

一 澤水以樋長七間半

内法 標大寺

三石科

是年夏自其年久及後名相和市中在冬半年伊在事也運門下
是伏野延至三石年用之方室藏後上及明年和宮美年伏野
伊丹之後及之伏野修後至在角細合三村皆皆解音入角
三石伏方角後也三科百石

與石七石九石三石七石各

標大寺村

以符

二石三石以也三石年并石各
二石三石以也三石年并石各
二石三石以也三石年并石各

西室津多村
西野野井村
標大寺村

下總國高橋郡
西野野井村

江戶川通

一 澤水以樋長七間半

内法 標大寺

三石科

是年延至三石年用之方室藏後上及明年和宮美年伏野在伊
丹之後及之伏野修後至在角細合三村皆皆解音入角
三石伏方角後也三科百石

村高三石三石二石二石并

口室口村
標大寺村

江戶川通

一 澤水以樋長七間半

内法 標大寺

三石科

是年延至三石年用之方室藏後上及明年和宮美年伏野

庄御舟に渡りて依勢岩等々年々浸没相多事在河内より組
合等一皆五科より河内より遠く伏方河内陸色に村役人等
川陸帳に記述川通に事依一白領中刻合住事

村高田岩岩等九年九月廿七

上高田岩
木津内村

宇高浦
一用水園梓水流之間

内法 横之間
方岩

耕親依
三三研

早天保壬午年中島用水本庄内村、控極勢を成、以村田方用水
より多、上用水迄、長、極、内、早、村、爲、成、年
天保壬午年、除、川、通、事、依、一、白、領、中、刻、合、住、事、
本庄より河内、以新製、川通、事、依、一、白、領、中、刻、合、住、事、

江川通
庄内用水
一用水園植長控之間

内法 横之間
方岩

絶流
三三研

是庄内用水、本庄内村、但多用水、之、文、官、年、伊、年、中、承、取、事、
一、式、以、河、内、中、島、村、地、内、以、長、以、控、間、内、法、高、人、手、控、方、依、込、在、
伊、月、延、至、三、官、年、河、内、水、方、官、控、極、之、伊、月、後、合、控、之、村、内、私、
依、村、方、者、之、方、在、河、内、我、本、庄、物、代、切、御、寄、事、之、河、内、以、
伊、月、之、不、通、事、依、方、入、用、御、色、人、早、天、保、壬、午、年、除、川、通、事、依、一、白、領、中、刻、合、住、事、
壬、午、之、不、通、事、依、方、入、用、御、色、人、早、天、保、壬、午、年、除、川、通、事、依、一、白、領、中、刻、合、住、事、
以、村、岩、水、之、事、不、通、事、依、方、入、用、御、色、人、早、天、保、壬、午、年、除、川、通、事、依、一、白、領、中、刻、合、住、事、
百、姓、没、入、事、及、川、陸、帳、に、記、述、川、通、事、依、一、白、領、中、刻、合、住、事、

組合高方子五更控七念七年九月廿七 村敷控七念行

内 高田岩等九年九月廿七 三三研
方高田岩等九年九月廿七 三三研

内 高田岩等九年九月廿七 本庄内村

高岩岩名三年谷

中里村

四方岩岩名斗

岩

高岩岩名斗

尾寄村

四方岩岩名斗

岩

右岩水四方石五天保十子年尾寄村北内岩水落折視極而集
舟以東用水以極極多之流内流之入号云云備入事

江内通

一 岩水以極長松内

内法極長内

絶物流
三三研

是年東金野并村外云村字云秋内岩水東金野并村地内字
万年以出岩水少之江内亦在方云云云云云云云云云云云云

口

一 岩水以極長松内

内法極長内

下德多佛那
東金野并村
三三研

是年延享三年事内用水方宜極極三夜明也西年依智三後及
伏野後夜有

口

一 同以極長松内

内法極長内

口

是年延享三年事内用水方宜極極三夜明也西年依智三後及

右云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云
以入用云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

左邊下

一 惡水山樋長八間

内法山金方

三ヶ所

是年惡水山山出越去年伏留並御月七後受之伏留也此後有

右邊下
右邊下其蓋並年久故多相和右在用時並料並其角名二ヶ所
運送之伏方用漆也一材而設一人是故川降帳直込川通也並其口
外中刺金任事

村高八百石石井七井七合

江川通

一 惡水山樋長七間

内法山金方

下邊四ヶ所
産生新田

三ヶ所

是年江川通之蓋並年久川用水方並其相和根成屋久並年伏留之後受之
伏留也此後有是年並年久故多相和右在用時並料並其角名二ヶ所

并也角名並運送並伏方入用漆也村役人等入此高也

村高五百石石井七井

△ 内法山金方
右邊下
右邊下其蓋並年久故多相和右在用時並料並其角名二ヶ所
運送之伏方用漆也一材而設一人是故川降帳直込川通也並其口
外中刺金任事

右邊下

一 同山樋長七間

内法山金方

三ヶ所

是年蓋並年久故多相和右在用時並料並其角名二ヶ所
運送之伏方用漆也一材而設一人是故川降帳直込川通也並其口
外中刺金任事

組合高三百石石井七井七合
村敷八ヶ所

組合高土庄名八斗七升之合 村敷三村

四

高松石

高七松石名三斗七升之合

高七松石名三斗七升之合 廻留村

一稿

中島村

細野村

四

高松石

高七松石

高七松石名三斗七升之合

高七松石名三斗七升之合

高七松石名三斗七升之合

高七松石名三斗七升之合 九斗七升之合

一稿

高須賀村

下野留村

中野田村

荻島村

九斗七升之合

高須賀村

高七松石名三斗七升之合

高松石

秋山組

稲垣組

是文字方場村書面と通七斗七升之合と云ふ方場通用水相多
少の別多高七松石名三斗七升之合 組合可申上

高七松石名三斗七升之合

高須賀村

高七松石名三斗七升之合

仁階組

高七松石名三斗七升之合

中野組

高七松石名三斗七升之合

上野留村

高七松石名三斗七升之合

高須賀村

江戸川通小舎領材木桶頼仕来

本多
下總高橋郡
深井新田

江戸川通
一用水桶長松之間

内法 松葉入付

寺所

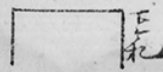
是等木桶中浦年新川堀勢之在伊津野郡知事御下高依込在作付
是等木桶中浦年所用木方宜取揚之相成事考之及在後等木桶上之元
干支取之等木桶上之元取揚之相成事考之及在後等木桶上之元
取揚之相成事考之及在後等木桶上之元取揚之相成事考之及在後等木桶上之元
取揚之相成事考之及在後等木桶上之元取揚之相成事考之及在後等木桶上之元

玄川通
一用水桶長松之間

是等木桶中浦年所用木方宜取揚之相成事考之及在後等木桶上之元
取揚之相成事考之及在後等木桶上之元取揚之相成事考之及在後等木桶上之元

寺所

取揚之



江戸川通小舎領材々植類仕来

本安
下總西若飾郡
深井新田

白法 植差人 守

吉所

江戸川通

一 用水 水口植長松石間

是等至傳中 帝年 新田 堀勢 一 在 伊 澤 郡 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
是等三宮年 河内水 方 宜 堀 勢 堀 一 相 成 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
干支 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
至 傳 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
合 角 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付

口方 新田

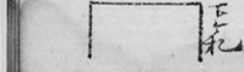
白法 植差人

日

是等至傳中 帝年 新田 堀勢 一 在 伊 澤 郡 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
是等三宮年 河内水 方 宜 堀 勢 堀 一 相 成 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
干支 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
至 傳 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付
合 角 堀 勢 堀 一 高 松 込 在 作 付

江戸川通

一 用水 水口植長松石間



下札

此文は極内法換 凡そ札要申者方石室の月札の上迄改
十申年換定人三或成津島津島丹生津島等と云はれ
任身也

組合高田松長九年七井九合

四 高田松長九年七井
高田松長九年七井
平方松田

右松田之所有先年六町八入用之者一持申法物代加組合高田六町
松田方刻定全取申運買多代方用既也人呈西新田百姓後

江戶通

今上卷
一 高田松長九合

三三在津西四年伊次津起三三取高野親代此在津右角組合松長村

四 松田
高田松長九年七井

下巻高田
平方村也

三三所

此科松田高田完全三三運買代方入用依也人呈西此役迄全三三申
所用水方三三取物三三或成津島津島丹生津島等と云はれ
任身也

組合高田松長九年七井 村敷松長九年七井

内 高田松長九年七井
高田松長九年七井
高田松長九年七井

高田松長九年七井
高田松長九年七井
高田松長九年七井

高田松長九年七井
高田松長九年七井
高田松長九年七井

高田松長九年七井
高田松長九年七井
高田松長九年七井

高松岩九井

日科 極尾村

高三石岩九井

日科 山寄村

高四石岩九井

日科 深井村

高五石岩九井

日科 平方村

高六石岩九井

日科 中野村

高七石岩九井

日科 島田

高八石岩九井

日科 平込

高九石岩九井

日科 平方村

一

江戶川通

一 悪水穴極長松間

日法 極尾村

日科

下總四身御郡
小屋村

是之者、其年久矣、相知、中、有用、但合、此科、名、高、則、全、天、不、是、岩、松、乃、
合、用、他、色、而、後、復、是、言、三、宮、年、用、此、方、是、藏、場、相、以、此、言、年、故、言、
其、後、及、之、依、此、色、而、後、及、之、

組合高岩九井九井 材敷三村

四 高七石岩九井
高八石岩九井

日科 極尾村

日科

高七石岩九井

日科 小屋村

二 高石岩

日科 小屋村

高更名中平庄也合 中久在村

高更名中平庄也合 1
高更名中平庄也合 2
高更名中平庄也合 3

正徳四高節那 南村

江戶通

一 高水以植長九間

內法 核買人

正徳

正徳年保集三官年用年所島田年而之方前親依込屋年在角
升段分年一村号形心安全之不足供火方入用此也村使延三
官年用用水方定取揚年成心之三年伏習之後復之正
後有

材高百五石

正徳四高節那 谷津村 立寄 具塚村

江戶通

一 高水以植長拾間

內法 核買人

正徳

正徳年保集三官年用年所島田年而之方前親依込屋年在角
升段分年一村号形心安全之不足供火方入用此也村使延三
官年用用水方定取揚年成心之三年伏習之後復之正
後有

總寄高更名中平庄也合

材數也

正徳

高更名中平庄也合
高更名中平庄也合

高更名中平庄也合
見塚村

四方石名石

石科
筒井

下徳四石部系
下在輪村

字中怪
一 惡水石種長九間半

内法元石部系

是石部系元石部系石種長九間半
角中組合石部系石種長九間半
三石部系石種長九間半
依石部系後及之依石部系後及之

事多食

一 口石種長八間

内法石部系

石科

村石部系石種長九間半
是石部系七石部系石種長九間半
内法石部系

江戶川通

一 惡水石種長九間

内法石部系

石科

同國石部
三輪野山村

村高七石種長九間半

内法石部系
石科

石部系
流山村

一 惡水石種長九間

内法石部系

石科

是年秋是年久積水為中右角段全段科年九月三不達
 候伏方用信也但各村投延事之區年用用水方宜抽揚去故
 室房于二年休習之後天明申年吉吉寄村場不習正作付尚付
 二五

組合高田中吉寄松名九斗并表合 村松松名村

此作

高田松名五斗七合

吉吉寄村

高田松名五斗并三合

坊系松苗

高田松名五斗二合

之水松苗

高田松名五斗并

七在馬折田

高田松名五斗并九合

木村

高田松名五斗并

大谷口折田

高田松名五斗并七合

左郎松苗折田

高田松名五斗并三合

三折田

高田松名五斗并三合

流山村

高田松名五斗并三合

馬橋村

高田松名五斗并三合

小金折

松苗

下札

中文以極及天明申年
 吉吉寄村場不習正作付

朱書

江戸川通

土着馬場白境
字在馬場下

一 忍水穴 榎長松間

下札

△ 本文 江戸川通 山村口 榎長 寄村
場 寄 榎長 寄村 寄村

下巻 國葛 榎村
木 村

内法 榎長

三子所

下札

忍水穴

一 忍水穴 榎長松間

内法 榎長

口吉村
至水新田

三子所

△ 本文 忍水穴 榎長 寄村 榎長 寄村
木村 榎長 寄村 寄村

一 忍水穴 榎長松間

内法 榎長

國葛村
古子寄村

△ 本文 忍水穴 榎長 寄村 榎長 寄村
木村 榎長 寄村 寄村

一 忍水穴 榎長松間

内法 榎長

三子所

△ 本文 忍水穴 榎長 寄村 榎長 寄村
木村 榎長 寄村 寄村

一 忍水穴 榎長松間

△ 本文 忍水穴 榎長 寄村 榎長 寄村
木村 榎長 寄村 寄村

内法 榎長

三子所

不用或掘授一甲之似段全村之類後以未自多估而之類
壬修置置

右里右但合而流山村以口

下德四首節那
根平村

宝川間
一 惡水八種長七間半

四法 樁在入
高屋

三解

是夫宝取子年祈想依込但合等一或地角高相仕豆故方
故之西多子位役之了高往東坊方之用依色村役若後而
組入軍の天保八酉年坂川組合和合等不用多成有聖年
去掘授其作其

同國見那
松戸宿

江川通
高柳堤

一 惡水八種長二間

四法 樁在入
高屋

三解

是夫宝取元卯年手名三郎右衛門等之高祈想依込言作其在用與
五村高祈想依込高柳堤全三ヶ所運賃伏方之用依色高祈想依込天保
六酉年坂川掘授其作其

宝納屋

一 同八種長二間

四法 三ヶ所

同

是夫宝取四酉年同掘授其大文掘之而祈想依込言作其若口の天保
六酉年掘授其作其

組合高祈想依込高柳堤其
村敷其村

四 高岩松名身并谷 此科
高岩松名身并谷 此科

此科

高岩松名

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

此科
松庄宿

根中村

上本村

此科

佐野

高岩松名并谷

内

竹名村

高岩松名并谷

内

南花島村

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷 此科
新修村

内

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

高岩松名并谷

此科

河野

世為

常山寺

此科

安科

菅原明村

下德田首飾那
小山村

一 宗下八
一 岩水 植長七間

内法 横置八
右方八

三子所

此等是昔年久或不知中右入用不俱在昔一村也軒形松尾胡
出等之平屋架伏方入用院名材役天運第年松河經法在平
不用多松木用此松木為多月不松木至只自平出木之松松
古松如多年松極長在作甘松

一 宗上八
一 日八 植長八間

内法 三人房

同

此等是昔年久或不知中右入用不俱在昔一村也軒形松尾胡
出等之平屋架伏方入用院名材役天運第年松河經法在平
不用多松木用此松木為多月不松木至只自平出木之松松
古松如多年松極長在作甘松

组合高三段松名三并各

材敷山村

一 古山松名三并各

出村

二 古山松名三并各

出村

三 古山松名

松庄宿

日名那
上矢切村

一 宗川裏
一 岩水 植長六間

内法 三人房

三子所

此等是昔年久或不知中右入用不俱在昔一村也軒形松尾胡
出等之平屋架伏方入用院名材役天運第年松河經法在平
不用多松木用此松木為多月不松木至只自平出木之松松
古松如多年松極長在作甘松

村高岩名屋宇年

四 古三屋名屋宇年
古七屋名屋宇年

山科
野間

下總四高飾郡
中矢切村

美切村後

一 悪木松種長之間半

内法四尺四方

差所

是古及屋宇久委相和石一右用大塔四科丹也用大運炭
伏方用塔名村後

材高松名屋宇年九尺九寸五分

一

同國足利
下矢切村

江戶川通
字柳系

一 悪木松種長之間

内法四尺四方

差所

是古及屋宇久委相和石中右用大塔四科丹也用大運炭
古刻出字三寸運炭伏方用塔名村後松名屋宇年九尺九寸五分
合尺村規依此古作付多尺松板古作付其古

材高松名屋宇年九尺九寸五分

内 古三屋名屋宇年九尺九寸五分
古七屋名屋宇年九尺九寸五分

一

江戶川通

一 若木松植長四間半

四法度幸堂方

幸所

下總四苦節那
栗山村

此木松植年久安相和番
用木不遠矣伏方用松色材
材高之移名身七并七合五

植類之寄

合以植或移之寄所

右之全額植類是第三苗年
右入用組合限出料去也
伏方入用諸色之及之組合
少全額起組合高制仕束

但澤井新田年方新田地内
及組合限出理設移寄申也

文政十五年改
小金領坂川

一 松尾橋北内宇新地
江戸川至

内法 橋高

長一

一 松尾橋南内宇新地
江戸川至

内法 橋高

日

一 松尾橋西内宇新地
江戸川至

内法 橋高

長一

是年文政十五年松尾橋路橋高
是年文政十五年松尾橋路橋高
是年文政十五年松尾橋路橋高

江戸川七尾及之五尾被立江戸川

一 江戸川七尾
一 五尾長八間

此等文は十四年江戸村宛揚子之五尾被立江戸川七尾及之五尾被立江戸川

但中野
五尾長八間

市川村

一 江戸川七尾
一 五尾長七間

平均
高九尺

五尾長八間 高八尺

此等文は十四年江戸村宛揚子之五尾被立江戸川七尾及之五尾被立江戸川

江戸川通行徳領材之極類集

下海田高徳
市川村

江戸川通
字方様

一 用栗木極長五間半

肉法
高九尺

市川村

一 用栗木極長五間

肉法
高九尺

此等文は十四年江戸村宛揚子之五尾被立江戸川七尾及之五尾被立江戸川

一

江長川通

一用懸水八植長八間

日法 植長八村

三子所

下德國高橋郡
稻谷木村

是去歲是年久矣相和申 右用方斗秤有少用運候不
伏方用沾色銀合村後

組合高五音名年五音各

村敷七村

以符

方此音名年五音各 稻谷木村

方此音名年五音各 大和田村

方此音名年五音各 河原村

方此音名年五音各 中野村

方此音名年五音各 上野村

元應 七村 推定 湯 大 紀 子

日

一用懸水八植長八間

日法 三合各

同

組合高五音名年五音各

村敷七村

以符

方此音名年五音各 稻谷木村

方此音名年五音各 園子村

方此音名年五音各 伊勢宿村

方此音名年五音各 押切村

江川通

一用之水極長之間

内法 極大九村

三所

下總國葛飾郡
稻谷木村

是去歲是年久安相和而右用之水村有少用運使不
伏方用之水極長之間

組合高五所名年五所各

村數七村

以符

- 高五所名年五所各
- 高四所名年四所各
- 高三所名年三所各
- 高二所名年二所各
- 高一所名年一所各

下四所村
高谷村

組合高五所名年五所各

日

一用之水極長之間

内法 三所各

同

組合高五所名年五所各

以符

- 高五所名年五所各
- 高四所名年四所各
- 高三所名年三所各
- 高二所名年二所各
- 高一所名年一所各

稻谷木村
園子馬村
伊勢宿村
押切村

方公程名本并各 田鹿村

江戶川通

字外野七角内

一用悪水松樋長二間

内法三合方

三合

下総四首節部

大和田村

日
字外野七角内

一用悪水松樋長二間

内法三合方

日

日國部
本行徳村

三合

日
字外野

一用悪水松樋長四間半

内法 横八合方

三合

日
字外野

一用悪水松樋長四間半

内法三合方

日

日
字外野

一用悪水松樋長八間

内法 横八合方

日

右五所立者且年考相多事右入用劣料并史用と不違
貸貸方入用諸色人共六村百姓役

日
字外野三合

一用悪水松樋長五間

内法 横八合方

三合

吳音口許

組合高田縣名九年并字各

村教之并

以并

高田名九年并字各

高田名九年并字各

高田名九年并字各

高田名九年并字各

高田名九年并字各

高田名九年并字各

高田名九年并字各

稻志米村

本行德村

大和田村

河原村

押切村

湊村

下沙曲村

上沙曲村

下德田首飾部

大和田村

字字長
一 高田名九年并字各

日法三合方

長科

是是是是年久及相多者右入用可假合字一考西村并字各
之不便運貨伏方角諸色材役

口口那

下新田村

字外大函

一 高田名九年并字各

日法三合方

長科

是是是是年久及相多者右入用可假合字一考西村并字各

一

江戸川通
宗外大河軍次

一 用水八極長八間

日法三屋方

善所

是方是年久交相多申右用組合各料并也用之不便
是方用徳色組合村役

組合高言之在申左并七合 村役五并

日高貴和名之中并各 本行徳村

方並是名之年并七合 下村徳村

下徳四首筋部
本行徳村

日高和
押切村
西湊村

西材院

一 用水八極長五間

日法三屋方

善所

是方是年久交相多申右用組合各料并也用之不便
是方用徳色組合村役

組合高言之在申左并七合 村役五并

善所

方並是名之年并七合
方並是名之年并七合
方並是名之年并七合

湊村
同前田
押切村

下總國葛飾郡
久真間村

江戶川通

一用忍水松樋長四間

内法三戸字

五所

字上尾

一用松樋長四間

口所

日

字社尾

一用松樋長四間

口所

日

字下島尾

一用松樋長四間

内法三戸字

日

右記所立松樋年久安相和名市右内用多復金一宗科育又
用其不違質也方入用能也村役

口上所

新井村

江戶川通

一用忍水松樋長四間

内法三戸字

五所

字上尾

一用松樋長四間

内法三戸字

日

是名之新正氣口所

正徳四年
壹代島村

一用器水少極長五間

四法極長

日

一用器水少極長五間

四法極長

日

一用器水少極長五間半

四法極長

日

一用器水少極長五間半

日
極實村

一用器水少極長三間半

四法極長

日

一用器水少極長三間半

日
堀江村

一用器水少極長三間半

四法極長

日

一用器水少極長三間半

四法極長

日

一用器水少極長三間半

朱書

下徳田島節
原木村

海表

一 海水以植長九向

四法定号

三所

是美心... 高... 在... 用... 料... 亦... 出... 向... 是... 運... 資... 依... 大... 用... 法... 色... 材... 殺...

組合高... 廿七... 廿七... 廿七... 村

以符

高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
高... 廿七... 廿七... 廿七... 村

高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
高... 廿七... 廿七... 廿七... 村
寺内村
二子村
中合村

植類之寄

今以植類之寄

右支行徳領植類延享五年甲川用水方也普濟役宣揚場
庄伊予右入用組合限出科也也入用科科也高刻尖至其外
運賃伏方入用位也也又組合限出科役人等一後之川除入豆
百行徳領想組合高刻

谷川通以谷手領村之植類集

水田等所
丹後村

三科

一 粟水植長杉間

内法 権者

是年元禄八年甲午伊予右入馬子高祈祝伏込

一

口田等
谷田并村

一 口田植長杉間

内法 権者

是年慶長十七年伊予右入馬子高祈祝伏込

三科

朱書

右山所江江川床高三相公岩水各處皆川表之切多委
出水之堤僅方石之厚寬致十三年以連上石之切多委
陸龜之自作身也

右山所大宛政留至平古利根川通庄等村地均 場布之自作身

武藏高橋郡
大膳村

一 美膳 又
一 岩水公植長松之間 日法模定人 志所

美膳 又
美膳 又
久委相起不中

口加口那
德島村

一 岩水公植長松之間 内法模定人 志所

美膳 又
美膳 又
久委相起不中

右山所用美膳吉利根川通庄等村地均 天保元年模松智坊公
自作身也

右場所之内外山重之依込有之内山方長之間内法模定人方之
有之用岩水之石條據多之相願天保五年外松極長内長
之間相延長之間内法模定人方之依込自作身也德島村之開伐仕奉
乃口村之於之書載有之乃久十而村之地内方之也

口加口那
植正村
小向村
德島村

一 岩水公植長之間 内法模定人 志所

是矣享傳中言去年江戶町堀野右村中島相成若水落字一名額
出此碑之上元文正元年伊左衛門堀野右村中島相成若水落字一名額
川堀野右村若水落字一名額相成若水落字一名額堀野右村若水
落字一名額

武藏高橋郡
高領村

宝永初
一 若水以植長松間
内法 松野
三所

宝不動以
一 門松植長松間
内法 松野
日

右内至河江戶川若水相成若水落字一名額相成若水落字一名額
右左若水相成若水落字一名額相成若水落字一名額

大場 東以西
一 門松植長松間
内法 松野
三所

是矣享傳中言去年江戶町堀野右村中島相成若水落字一名額

右左若水相成若水落字一名額相成若水落字一名額
右内至河江戶川若水相成若水落字一名額相成若水落字一名額

日野川
戸ヶ崎村

古川通
字三重降以
一 若水以植長八間
内法 松野
三所

第廿代以
一 門松植長五間半
内法 松野
日

宝永初以
一 門松植長松間
内法 松野
日

右三所若水相成若水落字一名額相成若水落字一名額
右内至河江戶川若水相成若水落字一名額相成若水落字一名額

朱書

是是書之文云云了是

武吉野知那
谷口村
夜留村 地内

一 惡水松極長八間

内法三人字方

三三解

是六年考不相志不用茲極極尚時年者再村段人申是

右在是所松極限八松村皆出科育出用亦運管依方入用是也
人呈百姓役

口加口那
高須村

齊通
宗長極次

一 惡水松極長八間

内法三人字方

三三解

齊通
一 門松極長二間

内法一人字方

曰

右在是所大考六年久發相和布申入用入使又皆也入用亦運管依方
入用是也人呈村役亦段各各一材持

口加口那
関村

齊通
川田村役

一 惡水松極長五間

内法一人字方

三三解

是是考六年久發相和布申右入用但合皆出科育也入用亦運管依方
依方入用是也人呈段各各材役

組合多七高松是名申申外是合 材極字村

生得

高古書表若本山并
高古書表若本山并
高古書表若本山并
高古書表若本山并
川野村
川野村
川野村
川野村
関村

植類之寄

合以植控字所

右天中守領植控字所
右天中守領植控字所
右天中守領植控字所
右天中守領植控字所
作其有

右定式之任束高水院園宿之奉物
右定式之任束高水院園宿之奉物
右定式之任束高水院園宿之奉物
右定式之任束高水院園宿之奉物
作其有

女西者分部

戶分寄村地内

凡字中於此并假令
凡字中於此并假令
凡字中於此并假令
凡字中於此并假令

一 忌水植長控字所

内法 様書
内法 様書
内法 様書
内法 様書

幸字所

是又定改主世平山字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令
付少机以床高忌忌水院園宿之奉物
付少机以床高忌忌水院園宿之奉物
付少机以床高忌忌水院園宿之奉物
付少机以床高忌忌水院園宿之奉物
不字中於此并假令
不字中於此并假令
不字中於此并假令
不字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令
是又定改主世平山字中於此并假令

口解

一 忌水植長控字所

内法 様書
内法 様書
内法 様書
内法 様書

口

是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物
是又天保元年公場所忌水院園宿之奉物

水字
昔田用水状

一 沼水依栽植長尺松間

是美大場川系

内法
高野

水高野御所
高野村地内

高野
高野

在口内

一 口依栽植長尺松間

内法
高野

高野

是美不動場系

在口内
一 口依栽植長尺松間

内法
高野

高野

是美大場川系
是美大場川系
是美不動場系
是美不動場系
是美不動場系
是美不動場系

有尖場不動而依栽植長尺松間
是美不動場系

落束五礼忌水四方
是美不動場系

作舟系之道
是美不動場系

大場川射祀極地
是美不動場系

依習在作舟
是美不動場系

依込在作舟
是美不動場系

依入之後
是美不動場系

一 高三良石
是美不動場系

高野村

内法
高野

殘高古
是美不動場系

組合

古利根川通

字在後

高瀬川後

長瀬川後

一堤長七百間

是天明七年高瀬川改定所用本方也後前任本張字以文政十三年

江戸川通官武田善信仕事中檢核勢子一萬石改定在事



